

様式2【前期】

令和8年度中堅養護教諭資質向上研修【前期】専門研修シラバス

養護教諭 専門研修

※ 当センターでは、駐車スペースが限られるため、また、周辺では交通渋滞が発生しやすいため、来所の際は、できる限り公共交通機関を利用すること。

1 研修日程(研修者：小学校25人、中学校6人、義務教育学校1人、高等学校2人、特別支援学校2人 計36人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 7月22日 (水)	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター講義室B301>	総合教育センター 講義室B301
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:10	【講義・演習：保健教育における指導の在り方～体育・保健 体育～】 講師 県立高等学校教頭	
	12:10~13:10	休憩	
	13:10~16:10	【講義・演習：学校における救急処置の在り方】 講師 救急科医長	講義室B301
	16:10~16:30	研修の振り返り(振り返りシート記入) 諸連絡	
第2日 8月6日 (木)	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター講義室C102>	総合教育センター 講義室C102
	9:30~ 9:50	諸連絡	
	9:50~12:00	【講義・演習：不適應の今日的課題を理解する～愛着・発達 障害、心身症状、LGBTQ、うつ状態など～】 講師 臨床心理士	
	12:00~13:00	休憩	
	13:00~16:10	【講義・演習：養護教諭とキャリア発達～学校保健のリーダ ーシップ・マネジメント力向上を目指して～】 講師 大学准教授	講義室C102
	16:10~16:30	研修の振り返り(振り返りシート記入) 諸連絡	

2 連絡事項（課題等）

連絡事項 (課題等)	全日程 共通	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校保健の管理と指導 改訂版 2026」 (令和8年3月 愛知県教育委員会・愛知県学校保健会発行) ・筆記用具 ・事前に教員サポートシステム「研修 My Page」のポスト機能で送付する資料（受講者の提出課題等）（※1） <p>※送付する資料を、教育委員会が配備または所属校で管理職に許可されているタブレット端末に保存して持参してもよい。その際は、校内でタブレット端末の持ち出し手続きを行うこと。</p>
	第1日	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、<u>該当校種の物</u>を持参する。いずれも文部科学省のホームページからダウンロードできる。なお、特別支援学校所属の研修者は、課題「保健授業における学習指導案」で対象とした部に該当する物を持参する。 <p>(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」(文部科学省、平成31年3月) <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引」(文部科学省、令和2年3月) <p>(高等学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「改訂『生きる力』を育む高等学校保健教育の手引」(文部科学省、令和3年3月) <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 「保健授業における学習指導案」(課題様式1) 「救急処置事例報告」(課題様式2) ・課題様式 課題様式1及び課題様式2(それぞれA4判1枚)(※2) ・提出期限 令和8年7月1日(水)必着 ・提出方法 教員サポートシステム「研修 My Page」のポスト機能
	第2日	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

※1 研修日前日までに、提出された全受講者の提出課題を1つにまとめ送付する。

※2 課題様式1・2は教員サポートシステム「研修 My Page」のポスト機能で送付する。

3 課題様式（記入例）

【課題様式1・2共通の注意事項】

- ・受講番号（8桁）については、実施要項添付の名簿を参照する。
- ・A4判縦長横書き。枚数は1枚。
- ・字の大きさは、10.5ポイント。
- ・文字数は1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

<課題様式1>

令和8年度中堅養護教諭資質向上研修【前期】(第1日研修課題①)

保健授業(領域・分野・科目としての保健)における学習指導案(本時の展開を中心に)を作成する。

【作成上の留意点】

- ① 扱う単元・内容は各自で選択する。
- ② 保健の授業を担当していない場合でも、下記の資料や学級(ホームルーム)活動における指導を参考に、学習指導案を作成する。
- ③ 当該校種の学習指導要領解説(体育編・保健体育編)の保健該当部分をよく読み込み、学習内容が適切かどうか(何を教えるべきなのか)に十分留意する。
- ④ 単位時間全体を一齐伝達型の指導に終始することなく、思考力・判断力を育成するための指導方法を工夫し、学習活動を組み立てるように留意する。
- ⑤ 「導入(はじめ)」「展開(なか)」の場面において、それぞれ「効果的な発問」を設定する(複数可)。

<保健授業における学習指導案>

所属校		受講番号	(8桁番号)
<div data-bbox="240 920 1361 1447" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>・ 学習指導案は各学校の様式により作成して構わないが、以下の資料を参考にしてもよい。</p><ul style="list-style-type: none">○ 「改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引」(文部科学省、平成31年3月)○ 「改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引」(文部科学省、令和2年3月)○ 「改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引」(文部科学省、令和3年3月)○ 「小学校体育指導の手引」(愛知県教育委員会、令和3年3月)○ 「中学校保健体育指導の手引」(愛知県教育委員会、令和3年3月)○ 「高等学校保健体育指導の手引」(愛知県教育委員会、令和4年1月)○ 「特別支援学校体育・保健体育指導の手引」(愛知県教育委員会、令和4年1月)</div>			

※A4判縦長横書きで1ページに簡潔にまとめる。

<課題様式2>

令和8年度中堅養護教諭資質向上研修【前期】(第1日研修課題②)

養護教諭が行う救急処置は、適切な判断と対応が求められる。判断・対応に不安を覚えた事例を一つ取り上げて自分の判断・処置を見直すとともに、当日の演習の参考にする。

<救急処置事例報告>

所属校	受講番号	(8桁番号)
1 事例のテーマ ※判断・対応に不安を覚えた点をテーマにする。 <例 脱落した歯牙が見つからない小1児童への対応について 校外研修中、体調不良を訴えた中3生徒の対応 等 >		
2 事故発生状況と養護教諭への通報 (1)※事故発生状況について記述 (2)※養護教諭への通報について記述		
3 救急処置の手順と内容		
4 連絡・報告 ※養護教諭が行った連絡・報告を中心に記述する。「誰が、いつ、誰に、どのように」連絡・報告を行ったのかを記述する。		
5 判断・対応の問題点		
6 改善すべき内容と今後の課題(養護教諭として身に付けたい知識、技能を含む)		

「個人情報保護」の観点から、個人が特定できるような記述は避けるが、事例を共有するために以下の点に気を付けて記述する。

- ①「誰が(校種・学年等)、いつ、どこで、何を
 して、どのような状況になったか」等、簡潔に記述する。
- ②天候や気温等も必要であれば記述する。
- ③イニシャルは避け、「A」「B」と記述する。

※A4判縦長横書きで1枚に簡潔にまとめる(2ページになる時は両面印刷とする)。

4 課題提出について

(1) 教員サポートシステム「研修 My Page」のポスト機能を使用する。

ア 受講者は、ポスト上の「提出」より、ファイル選択画面に遷移

イ 受講者は、「参照」より、提出ファイルを選択し、「提出」ボタンをクリック

※ ポスト機能の詳細は、教員サポートシステム「研修 My Page」のメインメニュー「操作マニュアル」内P22からの「11 センターからの資料受取・返信(ポスト機能)」を参照する。

(2) 留意事項

ア 課題は、必ず所属長の決済をとる。

イ 決裁後、ファイル名を「課題様式〇_受講番号(8桁)」(※数字、記号は半角)とし、PDF形式で提出する。

5 問い合わせ先

担当 学校支援研修課キャリアアップ研修推進G(吉田)

電話 0564-83-9154(ダイヤル)